

## 2017年5月度（第350回）ライフサイエンス分科会

開催日時：2017年5月18日（木） 14:00～17:00

開催場所：日本図書館協会会館5階 会議室

参加人数：22名

記入者： 科学技術振興機構 岩島 真理  
協和メディアサービス 村松 奈央

### 第一部 サービス紹介

#### ・17 シソーラス改訂（JST 情報企画部文献業務グループ 山崎文枝）

Q. 新規用語の収集基準は？

A. 準ディスクリプタとして索引頻度が高く、かつ、「核（下位概念を有する）」となる語を選んでいる。枝葉になる語は、大規模辞書用語に登録している。

Q. 改訂の体制は？

A. 全体で10～15名程度。近い分野でグループをつくり、そのグループで改訂内容を検討する。1グループは5～6名程度。

Q. 新規収録語数の目標などはあるのか？

A. 目標値などは設定していない。

Q. アレル抗原と、蛋白質名は同時に検索できるか？

A. 大規模辞書で同義関係を設定していれば、シソーラスブラウザで同義語として表示されるので、選んで一緒に検索できるが、表示されない場合は入力していただく必要がある。

Q. J-GLOBAL では、シソーラス語と大規模辞書の違いがわからない？

A. シソーラス map では、シソーラス語と大規模辞書用語の違いがわかるよう表示しているので、参考にさせていただきたい。

Q. バックメンテナンスでアップostingしなおしているとのことだが、その語が準ディスクリプタに索引されていれば、すでに、上位語はアップostingされているのではないか？

A. 準ディスクリプタに対しては対応ディスクリプタを索引するのみで、アップostingは行っていない。対応ディスクリプタに対してはアップostingは行われているが、それは準ディスクリプタと関係づいてはいない。従って、新しいディスクリプタについてはアップostingする必要がある。

Q. 新たにディスクリプタに昇格する準ディスクリプタに対して索引されている対応ディスクリプタが、改訂後にはアップポスティングで索引される用語の場合、索引されている対応ディスクリプタは削除しないのか？

A. 削除しない。他の意図があって索引されている場合があるため。

Q. 改訂期間が短くなった理由は？

A. 体制の変更などによる作成方針による。過去は、大人数で都度全体を見直していたので、時間もかかり、改訂規模も大きかった。現在は、少人数で、こまめに改訂することになっている。ただし、必ず2年ごと、とは決めていない。

・海外誌拡充および機械翻訳・自動索引 (JST 情報企画部システム高度化グループ 関根基樹)

Q. 入手からデータベースへの収録のタイムラグはどれくらいか？今何件くらい入っているのか？

A. 処理には約1か月かかる。収録件数はまだそれほど多くないが、今後増やしていく。

Q. データの入手は出版されてからか？

A. 完全版で行っている。

Q. 類似文献抽出のロジックは？人手チェックしているか？

A. タイトル、抄録の重要度の高いものを使う。人手チェックはしていない。

Q. 何語くらい索引されるのか？人手で追加しているのか？

A. 平均10語程度索引している。人手では追加していない。

Q. 今後対象出版社は増えるのか？今は偏っている。

A. 増やしていきたいと思っているか、出版社交渉が難しい。

Q. 新規物質の物質索引は行わないのか？

A. この自動索引システムでは、新規物質の物質索引を行うことはできない。

・JMED おさらい (JST 情報企画部文献業務グループ 岩島真理)

質疑なし。資料参考のこと(サイボウズLiveのライフサイエンス分科会ページに掲載)。

第二部 ディスカッション：テーマ ①仕事で工夫している点 ②教育

①②に関して、参加メンバーで意見交換を行った。

- ・標準化、マニュアル化
- ・在宅制度の活用
- ・フレックス制度の活用
- ・ノー残業デーの設置

- ・プレミアムフライデーの活用
- ・生産性向上を検討する機会を設ける など

以上